

I 県外観光客入込調査

1 概要

- (1) 令和6年に高知県を訪れた県外観光客入込数は、対前年比94.3%、約26万8千人減の4,453千人と推計され、前年に比べ減少とはなかったが、過去2番目となった。

この結果は、連続テレビ小説「らんまん」効果の継続、「どっぴり高知旅キャンペーン」や「SUPER LOCAL SHOP とさとさ」での「極上の田舎、高知。」の発信、台湾との定期チャーター便の通年運航等による効果と考えられる。

- (2) 交通機関別入込数においては、自動車による入込が全体の約9割を占めており、乗用車利用者は66.0%、観光バス利用者は19.8%であった。乗用車利用者は対前年比93.4%で207,775人の減少、観光バス利用者も対前年比94.1%で55,205人の減少となった。

一方で、他の交通機関においては、チャーター機が対前年比153.4%で6,357人の大幅増となった。

- (3) 観光施設の利用状況において、利用者数が最も多かったのは「高知県立牧野植物園」で314,883人（対前年比71.2%）であり、前年比では減少しているが、連続テレビ小説「らんまん」効果が継続していることが伺われる。

次いで、多かったのは「高知県立美術館」の280,776人（対前年比172.3%）であり、人気の企画展が開催されたことが利用者の増加に繋がったと考えられる。

また、利用者数の前年からの増加数上位施設には、「高知よさこい情報交流館」や「仁淀川観光遊覧船」などがランクインしており、台湾からのチャーター便の通年運航が利用者の増加に繋がったと考えられる。

- (4) 県外観光客一人当たりの消費額（客船除く）は、29,717円であり、前年と比較して2,078円の増加となった。

内訳は、「宿泊費」が490円、「飲食費」が423円、「交通費」が848円、「土産代」が237円、「その他」が80円の増加となり、全ての調査項目で増加となった。

県外観光客の総消費額は、130,816百万円であり、前年と比較して1,741百万円増加、対前年比101.3%となった。

2 展 望

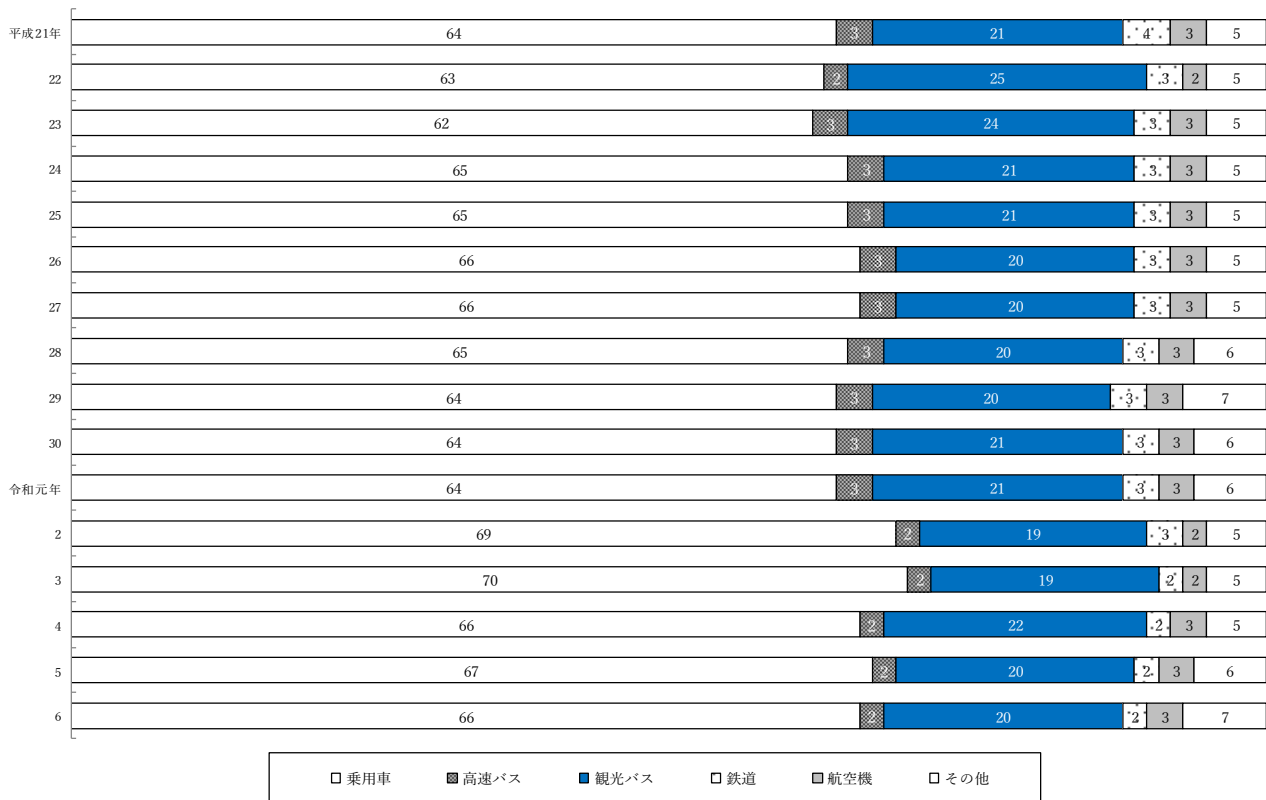
令和6年は、連続テレビ小説「らんまん」効果の継続、「どっぷり高知旅キャンペーン」や「SUPER LOCAL SHOP とさとさ」での「極上の田舎、高知。」の発信、台湾との定期チャーター便の通年運航等により、県外観光客入込数は過去2番目となる445万人となった。

令和6年は、連続テレビ小説「あんぱん」の追い風を最大限生かし、誘客の拡大を図るとともに、「どっぷり高知旅キャンペーン」を通じて長期滞在型の観光地域づくりをさらに進め、県内周遊を促進していく。

3 調査結果

・交通機関別入込状況

(図1-1) 交通機関別観光客占有率の推移 (%)



□ 乗用車 ■ 高速バス ■ 観光バス □ 鉄道 ■ 航空機 □ その他

(表1-2) 交通機関別観光客の推移

単位：千人

	乗用車	高速バス	観光バス	鉄道	航空機	その他	合計
平成21年	2,012	103	674	122	81	164	3,156
22	2,737	108	1,080	120	93	221	4,359
23	2,412	111	947	120	96	198	3,884
24	2,481	112	827	121	102	197	3,840
25	2,670	115	839	123	109	216	4,072
26	2,642	114	816	122	111	207	4,012
27	2,714	118	805	126	112	211	4,086
28	2,756	115	856	129	116	271	4,243
29	2,830	114	892	130	122	318	4,406
30	2,820	112	927	133	125	295	4,412
令和元年	2,813	112	927	133	139	264	4,388
2	1,838	46	521	75	59	128	2,667
3	1,860	40	522	61	60	129	2,672
4	2,437	62	830	92	107	179	3,707
5	3,148	75	938	108	144	309	4,722
6	2,940	79	883	108	143	301	4,454

※「その他」には、航空機チャーター便、客船及びフェリーを含む。

(参考)県外観光客の推移と主な出来事

